

患者さんへ

脳梗塞発症前スタチン製剤内服と脳梗塞発症時重症度との関係

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合は、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2009年1月から2019年3月の間に脳卒中診療科に急性期脳梗塞発症24時間未満で入院した患者さんです。

2. 研究目的・方法

本院脳卒中センターに発症24時間未満で入院した脳梗塞患者さんの神経学的重症度（National institutes of health stroke scale: NIHSS）を、全体と病型（ラクナ、アテローム性、心原性）別に、発症前の高コレステロール血症治療薬であるスタチン製剤（3-Hydroxy-3-methylglutaryl-coenzyme A: HMG-CoA）還元酵素阻害薬）内服有無で比較します。全体あるいは特異的な脳梗塞病型でスタチン製剤を内服していた方が発症時の神経学的重症度が軽症であれば、高コレステロール血症診断時に積極的にスタチン製剤を処方できる可能性があります。

研究期間：施設院長承認後 ～ 2022年12月

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、体重、症状、採血結果、病前の服薬内容、等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

森 貴久

湘南鎌倉総合病院 脳血管障害予防センター

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370 番 1

電話番号 0467-46-1717

(2022年6月10日作成 (第1.1版))